

【短報】

北海道大学内で所在不明となっていたホロタイプ3点の発見と
『秋山茂雄『極東亜産スゲ属植物』図版標本目録』（2009）の
補遺

加藤ゆき恵^{1,*}・首藤光太郎²

¹ 釧路市立博物館 〒085-0822 北海道釧路市春湖台 1-7;

² 北海道大学総合博物館 〒060-0810 北海道札幌市北区北 10 条西 8 丁目)

Yukie KATO^{1,*} and Kohtaroh SHUTOH²: Discovery of three holotypes missed in Hokkaido University, and a supplement to "Catalogue of the Plate Specimens for 'Carices of the Far Eastern Region of Asia' by Shigeo Akiyama" (2009)

(¹Kushiro City Museum, Shunkodai 1-7, Kushiro, Hokkaido 085-0822, JAPAN; ²The Hokkaido University Museum, Kita 10, Nishi 8, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-0810, JAPAN)

*Corresponding author: yukie.kato@city.kushiro.lg.jp

(2023 年 9 月 26 日 受理)

Abstract:

We discovered holotypes of *Carex yezo-montana* Akiyama and *C. sisukensis* Akiyama (Cyperaceae), and *Trollius akiyamae* Toyokuni (Ranunculaceae) in Hokkaido University. These holotypes were kept in the herbarium of the Faculty of Science, Hokkaido University (SAP), and had been missed for a long time. Among them, the holotype of *C. sisukensis* was used as a plate specimen in 'Carices of the Far Eastern Region of Asia' by Akiyama (1955). We supplementally add the information of the holotype of *C. sisukensis* to the catalogue of the plate specimens of Akiyama's work (Kato and Takahashi 2009).

はじめに

北海道大学には、かつて農学部と理学部で異なる植物標本庫が存在しており、秋山茂雄をはじめとした理学部所属の教員や学生は、論文において標本庫の引用に理学部標本庫（SAP）を用いていた。

北海道大学総合博物館が 1999 年に設置されたのを契機に、これら 2 つの植物標本庫に収蔵されていた維管束植物の標本コレクションは、同博物館の陸上植物標本庫（SAPS）に移管・統合され、現在大半の植物標本が SAPS 内の同じ標本棚で管理されている。例外的に、SAP に由来する秋山茂雄スゲ属植物コレクションは、2000 年に SAPS に移されて以降、通常の標本棚とは異なる独立コレクションとして配架・保管されている（加藤・高橋 2009）。なお、現在 SAP は北海道大学大学院理学研究科と総合博物館が共同管理する、藻類を中心としたコレクションに使用されている。

SAPS で保管されている SAP に由来する維管束植物標本の中には、ユウパリクモマグサ (ユキノシタ科) のホロタイプのように (Tamura et al. 2022)、所在不明となっているものもある。このユウパリクモマグサのホロタイプ探索 (Tamura et al. 2022) の過程で、現在の SAP 標本群 (藻類コレクション) の中から、今回さらに、SAP に由来する所在不明であった 3 点のタイプ標本が発見されたので報告する。発見された 3 点は、カヤツリグサ科スゲ属タカネショウジョウスゲ *Carex yezo-montana* Akiyama、カラフトタヌキラン *C. sisukensis* Akiyama およびキンボウゲ科キンバイソウ属キリガミネキンバイ *Trollius akiyamae* Toyokuni である。これらは、理学部から総合博物館への標本庫移転作業の際、別所で保管されていたために見落とされていたものと思われる。

タカネショウジョウスゲ *Carex yezo-montana* Akiyama のホロタイプ (図 1)

見つかった 3 点のうち 1 点は、1930 年 6 月に大雪山系芦別岳で採集された、タカネショウジョウスゲ *Carex yezo-montana* Akiyama のホロタイプである (Y. Yagisawa s.n., SAPS064254 [=旧 SAP052915: SAP で使用されていた番号と推測される])。TYPUS 印がラベル上に押されていること、*C. yezo-montana* の発表文 (Akiyama 1930) で引用された単一の標本の採集地・採集日・採集者が一致すること、発表者である秋山による筆跡で学名および和名の書き込みがあること、同様の他の標本が SAPS に配架されていないことから、この学名のホロタイプに該当すると考えられる (『国際藻類・菌類・植物命名規約』第 9.1 条; Turland et al. 2018)。この学名は、現在タカネショウジョウスゲに用いられている *C. blepharicarpa* Franch. var. *dueensis* (Meinsh.) Akiyama のシノニムとされている (秋山 1955)。

Carex yezo-montana Akiyama in J. Fac. Sci. Hokkaido Univ., ser. 5, Bot. 1(2): 62, f. 9 (1931).

Japan. Hokkaido, in monte Ashibetsu, prov. Ishikari (Y. Yagisawa s.n., June 1930, SAPS064254 (formerly SAP052915)-holotype).

カラフトタヌキラン *Carex sisukensis* Akiyama のホロタイプ (図 2)

筆者の一人加藤は 2005 年から 2008 年頃にかけて、SAPS のほかに金沢大学 (KANA)、京都大学 (KYO)、東京大学 (TI)、国立科学博物館 (TNS) の各標本庫で調査を行い、『極東亜産スゲ属植物』(秋山 1955) の図版の基となった標本を選定し、リストにまとめた (加藤・高橋 2009)。その中で、カラフトタヌキラン *Carex sisukensis* Akiyama (図版 109-2, 図 3) は秋山自身が記載した種にも関わらず、図版に使用された標本を見いだすことができなかった (加藤・高橋 2009, p. 102)。なお、タカネショウジョウスゲについては、ホロタイプと異なる標本が図版に使用されている (加藤・高橋 2009, p. 51)。

カラフトタヌキランは『極東亜産スゲ属植物』(秋山 1955) の中で発表された。発表時は樺太 (サハリン) 敷香地方の石灰山及び岡田山の特産とされ、石灰山で採集され北海道帝国大学理学部 (SAP) の標本がタイプ標本として指定された。この学名を *C. atrofusca* Schkuhr のシノニムとする見解もある (Egorova 1999; *C. atrofusca* subsp. *atrofusca* – GBIF <https://www.gbif.org/species/2722372>, 2023 年 4 月 26 日参照)。

今回発見された標本は、カラフトタヌキランのホロタイプであり、図版標本 (*B. Yoshimura & M. Hara s.n.*, 15 July 1937, SAPS064253 [=旧 052916]) であった。SAPS064253 には TYPUS 印が押され、ラベルに記された採集情報は発表文 (秋山 1955) のものと一致する。標本には 2 枚のラベルが付されており、うち 1 枚は北海道帝国大学農学部標本庫のもので、



図 1. タカネシヨウジヨウスゲ *Carex yezo-montana* Akiyama のホロタイプ (Y. Yagisawa s.n., June 1930, SAPS064254).



図 2. カラフトタヌキラン *Carex sisukensis* Akiyama のホロタイプ (B. Yoshimura & M. Hara s.n., 15 July 1937, SAPS064253).

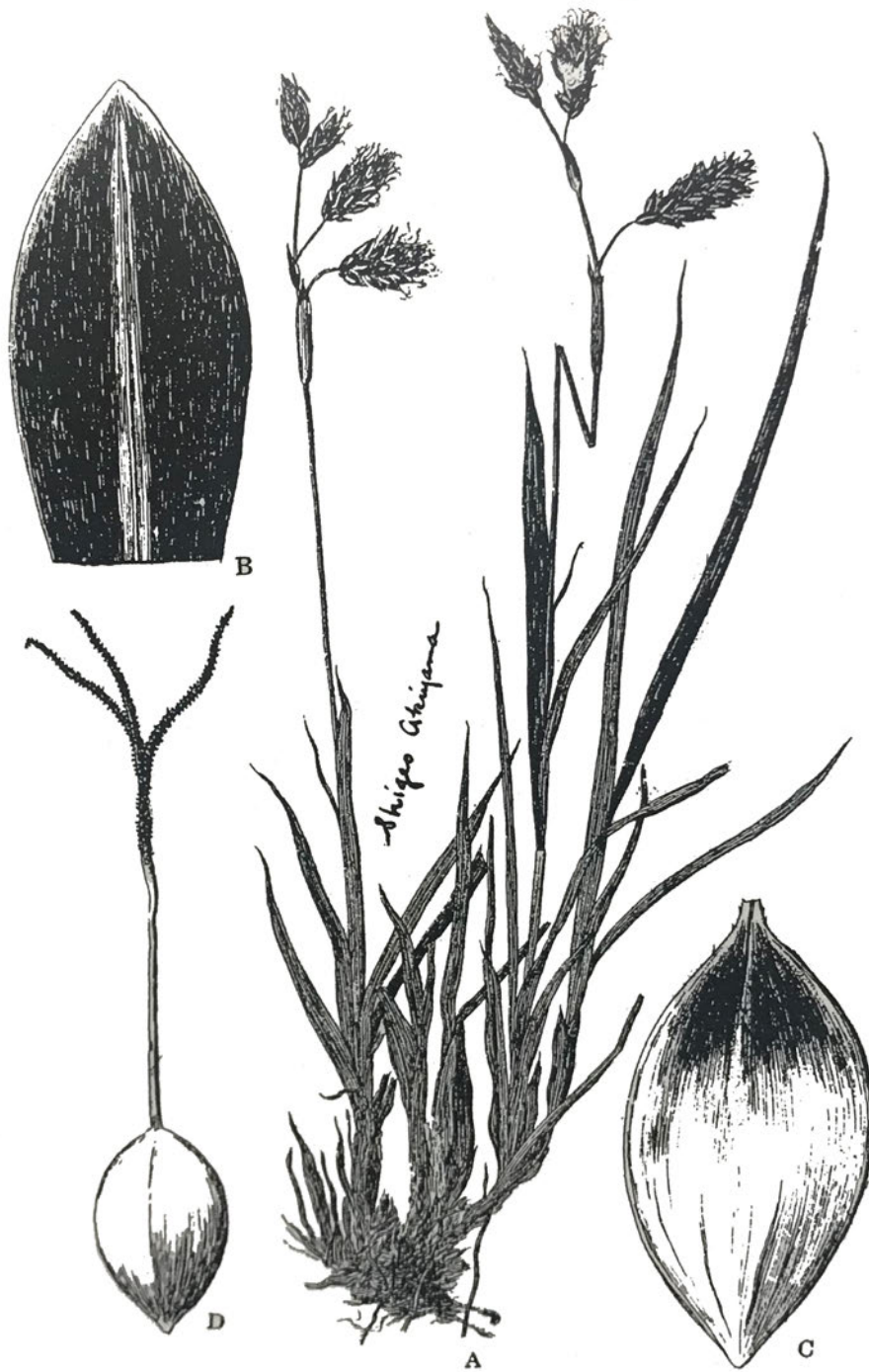


Fig. 2 *Carex sisukensis* AKIY.

カラフトタヌキラン

A 全草 whole plant B 雌花穎 pistillate scale C 囊苞 perigynium D 堅果 nut A ×1 B-D ×15.

図 3. 『極東亜産スゲ属植物』に掲載されているカラフトタヌキランの図版 (秋山 1955).

採集地として“南樺太敷香支廳石灰山(六十、六十一林班)”,採集日として“VII. 5. 1937.”、採集者として“吉村文五郎・原松次”と記されている。もう 1 枚のラベルは北海道帝国大学理学部腊葉室のもので、採集情報のアルファベット表記に加え、秋山による筆跡で学名“*Carex sisukensis* Akiyama” および和名“カラフトタヌキラン”と記されている。なお、発表文の採集地は“monte Ishibai”となっているが、今回発見された理学部腊葉室のラベルには“Sekkai-yama”とあり、発表文のものは「石灰山」を誤読したものと考えられる。

一方で SAPS の通常標本棚には、SAPS064253 の重複標本であるカラフトタヌキランの標本が配架されていた (*B. Yoshimura & M. Hara s.n.*, 15 July 1937, SAPS064256)。この標本には北海道帝国大学農学部標本庫のラベルが付され、ラベルに記された採集地・採集者・採集日は SAPS064253 の農学部のラベルに記されたものと一致する。加えて、秋山による筆跡で、カラフトタヌキランの学名および和名が記されたアノテーションが付されている。これらのことを考え合わせると、まず 2 枚の標本が農学部に持ち込まれた後、うち 1 枚が理学部に在籍していた秋山の手におわり、カラフトタヌキランが記載され、後にこの標本が『極東産物産植物』(秋山 1955) の図版に利用されたと思われる。

カラフトタヌキラン *C. sisukensis* の発表文(秋山 1955)では、北海道帝国大学理学部に収蔵された標本がタイプとして指定されたこと、農学部由来する重複標本には理学部腊葉室のラベルが付されていないことから、発表文では今回発見された SAPS064253 のみが引用されたと認識すべきと考える。したがって、SAPS064253 はホロタイプに該当すると考えられる(『国際藻類・菌類・植物命名規約』第 9.1 条; Turland et al. 2018)。一方、SAPS064256 は、アイソタイプに該当すると考えられる(『国際藻類・菌類・植物命名規約』第 9.5 条; Turland et al. 2018)。なお、発表文ではタイプと示された石灰山の標本の他に、H. Sugawara によって採集された岡田山産の標本も引用されているが、SAPS では確認されていない。

***Carex sisukensis* Akiyama, Carices Far East. Reg. Asia: 125, t. 109, f. 2 (1955).**

S. Saghalien. Shikika, Mt. Sekkai-yama (wrongly cited as "monte Ishibai" in the protologue) (*B. Yoshimura & M. Hara s.n.*, 15 July 1937, SAPS064253 (formerly SAP052916)-holotype, SAPS064256 -isotype). Saghalien, Sisuka, Okada-yama (*H. Sugawara s.n.*- paratype, not found).

キリガミネキンバイ *Trollius akiyamae* Toyokuni のホロタイプ (図 4)

最後の 1 点は、キリガミネキンバイ *Trollius akiyamae* Toyokuni のホロタイプである。この標本 (*T. Yamanaka s.n.*, SAPS064255 [=SAP15244]) は、1933 年 8 月に長野県霧ヶ峰で山中敏夫によって採集されたもので、当時の北海道帝国大学理学部腊葉室 (SAP) に納められていた標本をもとに、豊国秀夫が『北陸の植物』6 巻 4 号 (1957) で発表したものである。ラベルにはシナノキンバイ “*Trollius japonicus* Miq.” とあるが、“*Trollius Akiyamae* Toyokuni. Nom. Jap. Kirigamine-kimbai (H. T.) ” と記されたアノテーションが付され、このアノテーションの上に TYPUS 印が押されている。キリガミネキンバイの発表文で引用された単一の標本の採集地・採集日・採集者、および SAP で使用されていた番号 [=15244] が一致し、同様の他の標本が SAPS に配架されていないことから、この標本は *T. akiyamae* のホロタイプに該当すると考えられる(『国際藻類・菌類・植物命名規約』第 9.1 条; Turland et al. 2018)。豊国は、キリガミネキンバイを記載するに当たって、当時 SAP を管理していた秋山に献名した、と記している (Toyokuni 1957, p. 105: "Hoc nomen specificum dedito Dri. S. Akiyama")。

この学名は、現在はキンバイソウ *T. hondoensis* Nakai のシノニムとして扱われている (Kadota 2006)。

Trollius akiyamae Toyokuni in Hokuriku J. Bot. 6(4): 104, f. 1 (1957).

Japan. Honshu, Shinano, in monte Kirigamine (T. Yamanaka s.n., Aug. 1933, SAPS064255 (formerly SAP15244)-holotype).

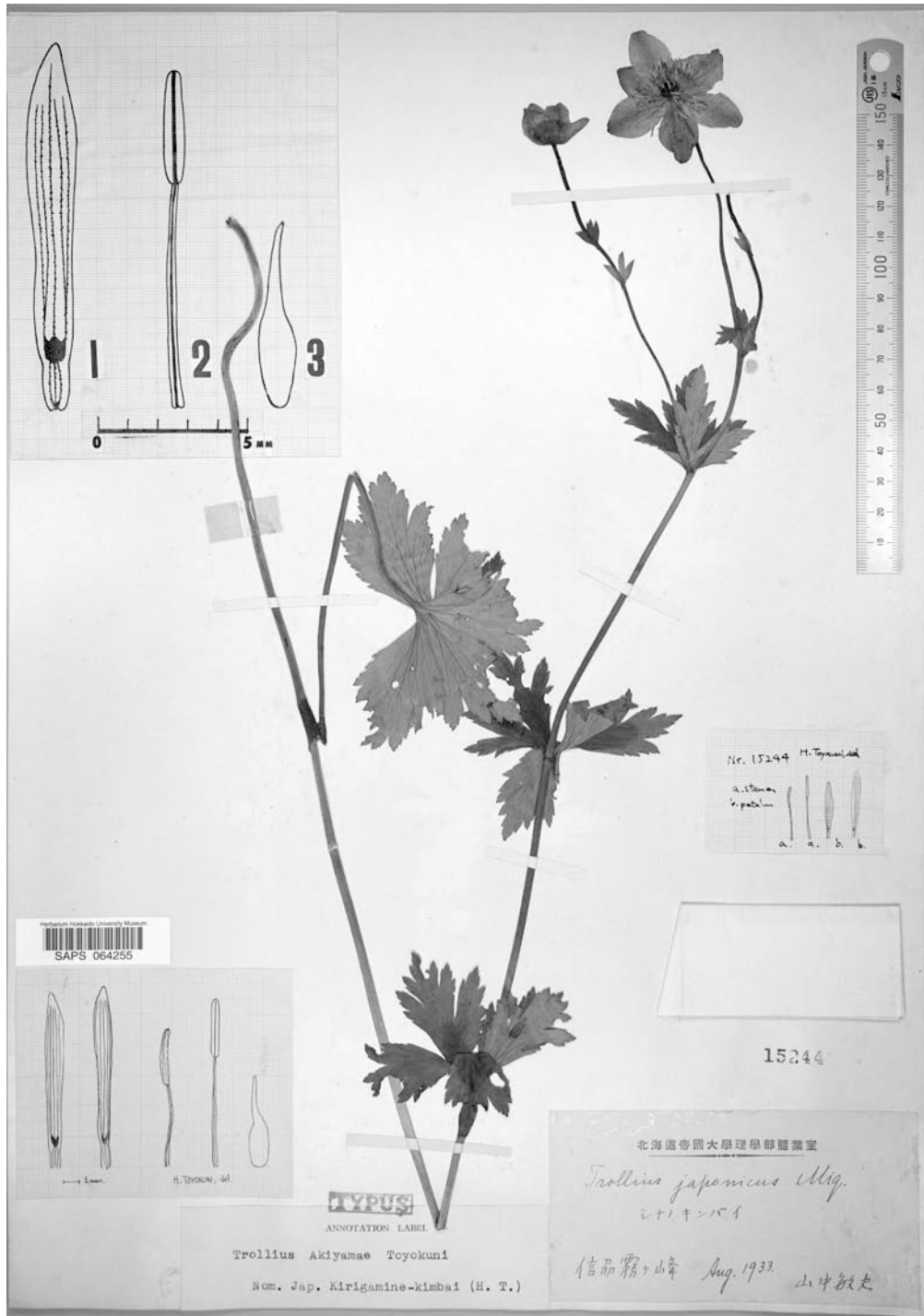


図 4. キリガミネキンバイ *Trollius akiyamae* Toyokuni のホロタイプ (T. Yamanaka s.n., Aug. 1933, SAPS064255).

秋山茂雄『極東亜産スゲ属植物』図版標本目録』(2009)の補遺

図版標本情報 (加藤・高橋 2009 に準拠)

図版番号・和名 Pl. 109-2 カラフトタヌキラン (図 3)

学名 *Carex sisukensis* Akiyama

地域 Sakhalin

確信度 ○

採集地ラベル情報 ①南樺太敷香支廳石灰山 (六十・六十一林班)

②South Saghalien, Shikika, Sekkai-yama

採集地 (英) Shisuka: Mt. Sekkai-yama

採集者ラベル ①吉村文五郎・原松次 ②Bungoro YOSHIMURA, Matsuji HARA

採集者 (和) 吉村文五郎・原松次

採集者 (英) Yoshimura, B. & Hara, M.

採集年月日 Jul. 15, 1927

備考 TYPUS 印 (*C. sisukensis* のタイプ標本)

5 個体あるうちの右下の個体

ラベルが 2 枚あり、①は右下、②は左下に貼られている。また、Teste T. Egorova 氏による再同定ラベル (*Carex atrofusca* Schkuhr) がある (1989 年 12 月)。

「敷香 (シスカ)」は「シキカ」と呼ばれることもあり、ラベル②の採集地名は Shikika となっている。

Herb. No. 052916

ラベルタイトル ①Herbarium of the Faculty of Agriculture, Hokkaido Imperial University, Sapporo, ②北海道帝国大学理学部腊葉室

図版番号書き込み Pl. 109

書き込み筆記具 インク

謝辞

標本の確認に際して、北海道大学総合博物館 阿部剛史准教授、北海道大学総合博物館 高橋英樹名誉教授、同北方生物圏フィールド科学センター植物園 中村剛准教授、千葉県立中央博物館 浅野紗彩氏にお世話になりました。記して御礼申し上げます。

参考文献

- Akiyama, S. 1930. Species Novae Caricum Japonicarum. J. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., ser. 5, Bot. 1(2): 57-63.
- 秋山茂雄 1955. 極東亜産スゲ属植物. 257 pp. & 248 pls. 北海道大学理学部, 札幌. [Akiyama, S. 1930. Carices of the Far Eastern Asia. 257 pp. & 248 pls. Faculty of Science, Hokkaido University, Sapporo.]
- Egorova, T. V. 1999. The sedges (*Carex* L.) of Russia and adjacent states. Missouri Botanical Garden Press, Missouri.
- Kadota, Y. 2006. *Trollius* L. In: Iwatsuki, K, Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.), Flora of Japan Vol. Iia Angiospermae Dicotyledoneae Archichlamydeae (a), pp. 260-262. Kodansha, Tokyo.
- 加藤ゆき恵・高橋英樹 2009. 秋山茂雄『極東亜産スゲ属植物』図版標本目録. 122 pp. 北海

- 道大学総合博物館, 札幌. [Kato, Y. and Takahashi, H. 2009. Catalogue of the plate specimens for 'Carices of the Far Eastern Region of Asia' by Shigeo Akiyama. 122 pp. Hokkaido University Museum, Sapporo.]
- Tamura, S., Takahashi, T., Shutoh, K., Sato, K., Shimamura, T. and Nakamura, K. 2022. Lectotypification of *Saxifraga yuparensis* Nosaka (Saxifragaceae). *Phytotaxa* **543**(1): 95–98.
- Toyokuni, H. 1957. Notulae per Occasionem ad Plantas (1). *Hokuriku J. Bot.* **6**(4): 103–105.
- Turland, N. J., Wiersema, J. H., Barrie, F. R., Greuter, W., Hawksworth, D. L., Herendeen, P. S., Knapp, S., Kusber, W.-H., Li, D.-Z., Marhold, K., May, T. W., McNeill, J., Monroe, A. M., Prado, J., Price, M. J. and Smith, G. F. 2018. International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plants (Shenzhen Code) adopted by the Nineteenth International Botanical Congress Shenzhen, China, July 2017. *Regnum Vegetabile* 159. Koeltz Botanical Books, Glashütten.